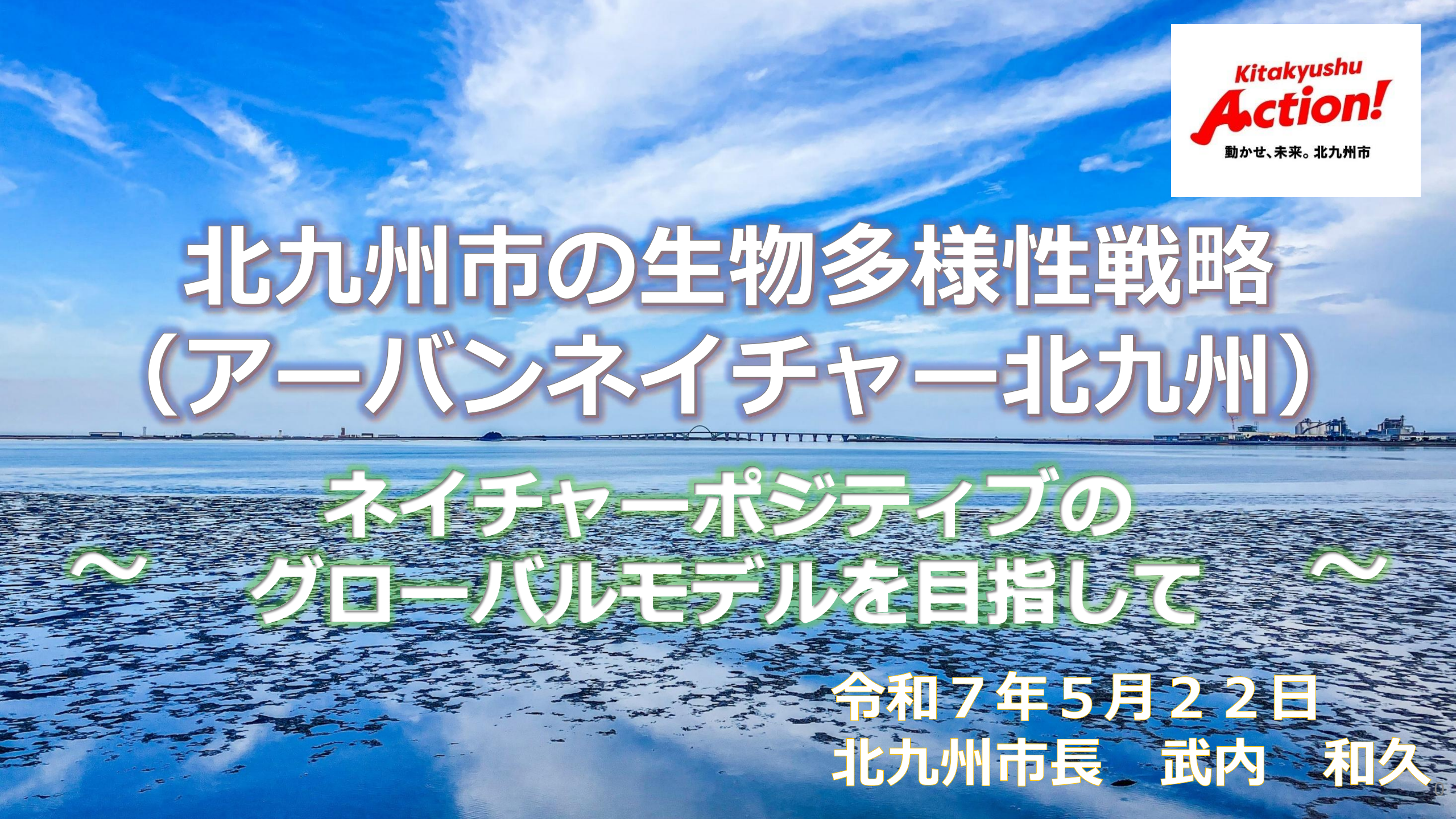


Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

北九州市の生物多様性戦略（アーバンネイチャー北九州）

～ ネイチャーポジティブのグローバルモデルを目指して ～

令和７年５月２２日
北九州市長　武内　和久

北九州市の都市と近接した豊かな自然

Kitakyushu Action! 動かせ、未来。北九州市

特徴①
3つの海
- 響灘　関門海峡　周防灘 -

特徴②
3つの国立・国定公園
- 瀬戸内海国立公園　北九州国定公園　玄海国定公園 -

特徴③
市域面積の**約4割**が森林

特徴④
渡り鳥の**十字路**
-日本列島を縦断
× 日本－大陸間を横断　-

特徴⑤
希少な生物の**宝庫**
- 平尾台、曽根干潟、響灘ビオトープ -

都市にあふれる“豊かで面白い”自然

北九州市の優位性

自然環境ランキング（政令市比較）

	特徴① 3つの海		特徴② 3つの国立・国定公園	特徴③ 約4割が森林	特徴④ 渡り鳥の十字路	特徴⑤ 希少な生物の宝庫	
	面する海の数	海岸線の距離	国立・国定公園の数	森林と都市のバランス （森林割合/都市割合）	渡り鳥の十字路の有無	干潟面積	造成されたビオトープ面積
1位	**北九州市 （3つ）**	**北九州市 （228km）**	**北九州市 （3つ）**	**北九州市 （0.94）**	**北九州市 （あり）**	熊本市 （925ha）	堺市 （113ha）
2位	浜松市 福岡市 （2つ）	福岡市 （158km）	京都市 （2つ）	福岡市 （0.59）	他19自治体 （なし）	**北九州市 （625ha）**	**北九州市 （41ha）**
3位		横浜市 （133km）	他10自治体 （1つ）	神戸市 （0.59）		福岡市 （225ha）	横浜市 （8.2ha）
4位	他13自治体 （1つ）	神戸市 （105km）		熊本市 （0.40）		名古屋市 （135ha）	神戸市 （1.6ha）
5位		静岡市 （81km）		岡山市 （1.67）		岡山市 （109ha）	さいたま市 （1.6ha）

※全て北九州市調べ

▶森林と都市のバランスを示す指標となっており、数値が１に近いほど望ましい

北九州市が世界に誇る「食」

合馬たけのこ

豊前本ガニ
（ガザミ）

若松潮風®
キャベツ

小倉牛

関門海峡たこ
（マダコ）

豊前海一粒かき
（マガキ）

寿司をはじめとした
世界に誇る北九州市の「食」
豊かな自然の恵み

若松潮風®
プレミアム

若松水切りトマト

豊かな自然を守り育み、未来につなぐための指針となる
新しい「生物多様性戦略」を策定

北九州市が目指す姿

北九州市 ＝ 都市に近接した豊かな自然

世界初！ **アーバンネイチャー北九州**

アーバンネイチャーで世界の潮流をリード！

アーバン
ネイチャー

×

ネイチャー
ポジティブ

都市と自然との共生

（都市部におけるネイチャーポジティブの「グローバルモデル」）

世界をリードするサステナブルシティを実現！！

※ネイチャーポジティブ：単なる環境保全ではなく、生物多様性の損失を止め、反転させ回復軌道に乗せること

市民とともに作り上げた新戦略

ポイント①

■ アーバンネイチャーフォトコンテストで

市民から応募いただいた作品を戦略に

掲載し、**市民とともに作り上げた**

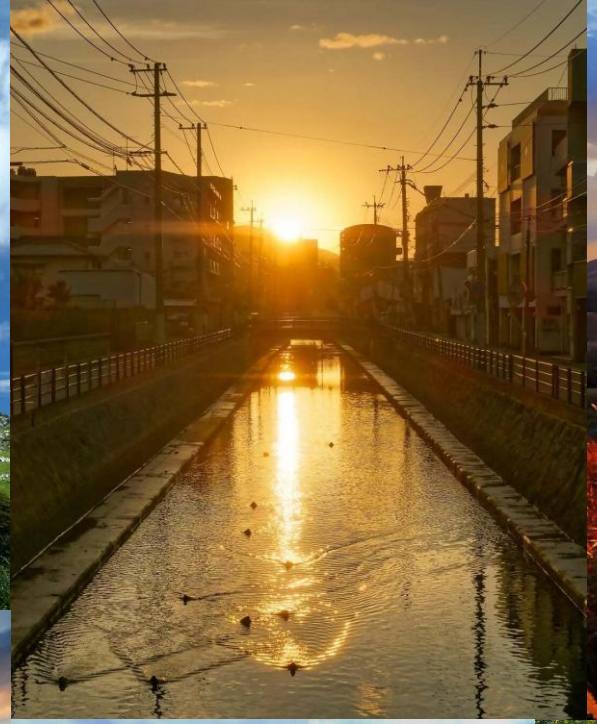
戦略の掲載HP

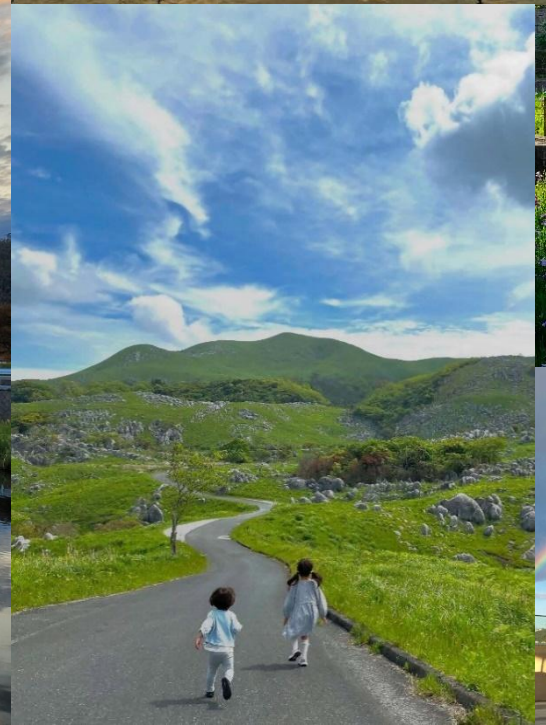
ポイント②

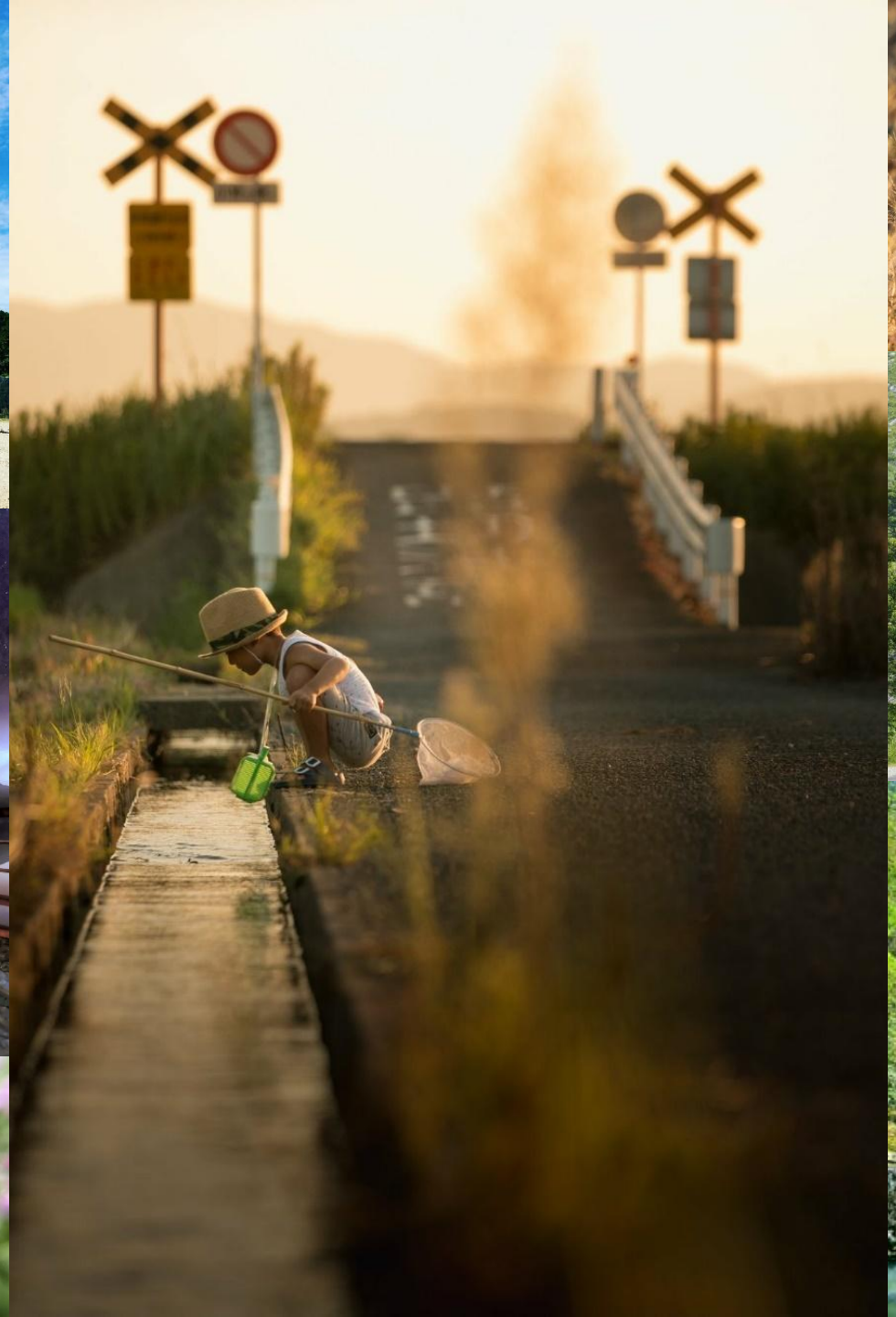
■ 市民の皆様の関心を惹き、

“読んで楽しい行政計画”を目指し、

「デザイン性」や**「読みやすさ」**を重視







全国初のセンターを中心に新戦略を強力に推進！

■ 戦略推進の活動拠点として、

新たに「ネイチャーポジティブセンター（※）」を設置

※「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律（令和６年法律第１８号）」に基づく、「地域生物多様性増進活動支援センター」として位置づけ

■ 生物多様性に関する１０の公共施設をセンターとして束ね、

面的に取組を推進

豊富な施設を活かして「施設群」として指定【全国初！】

ネイチャーポジティブセンター構成施設

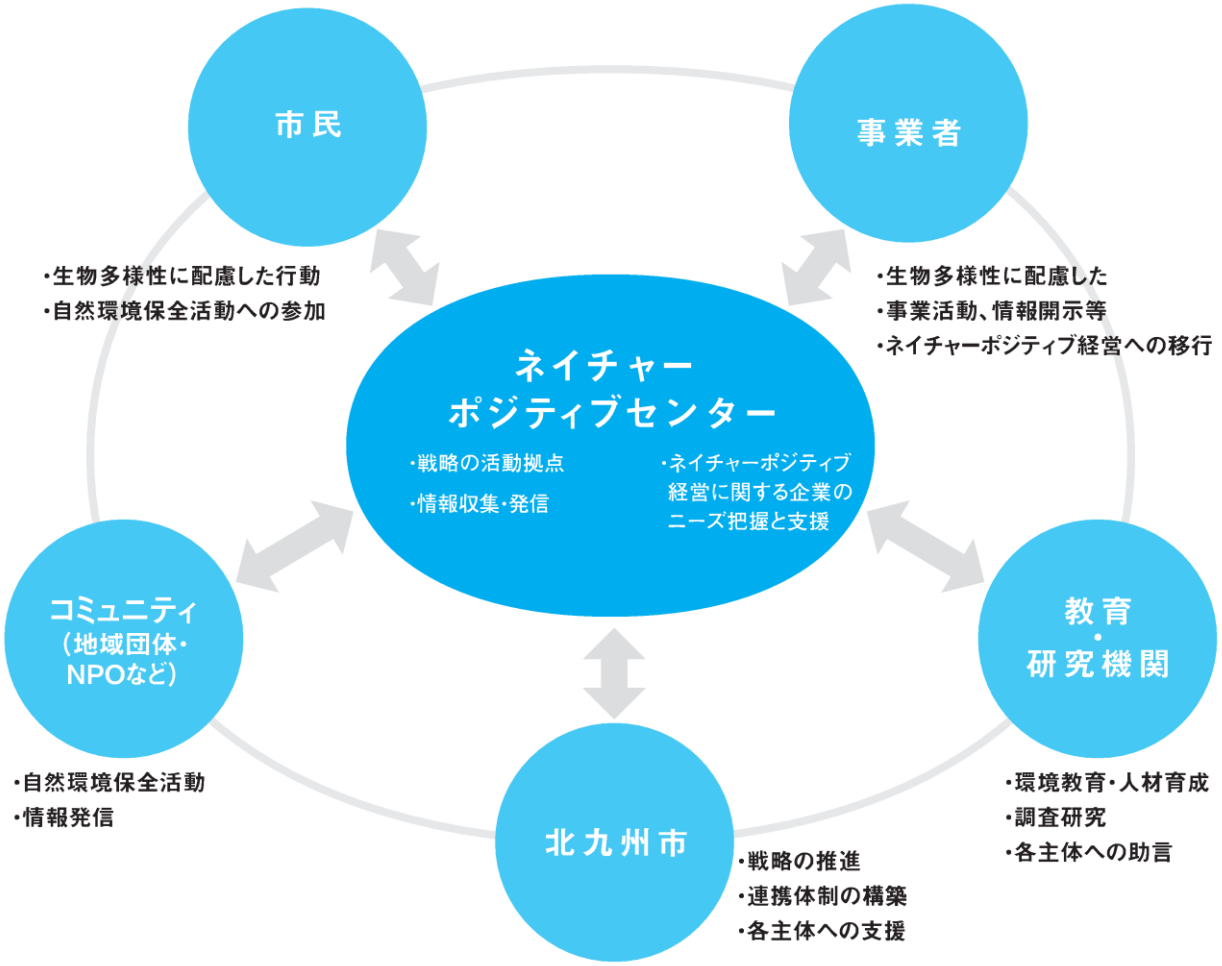
響灘ビオトープ、いのちのたび博物館、水環境館、ほたる館、香月・黒川ほたる館、山田緑地、響灘グリーンパーク、平尾台自然の郷、到津の森公園、環境ミュージアム

「オール北九州」でネイチャーポジティブを推進！

■　産学官民が連携して取り組むため、

新たに「ネイチャーポジティブネットワーク」を構築予定

※今秋頃に発足予定



市民、コミュニティ、企業、行政など、
ステークホルダーが緊密に連携し、
「オール北九州」で
ネイチャーポジティブに取り組む

サステナブルシティの実現

なぜ企業がネイチャーポジティブに取り組むのか？

ネイチャーポジティブ経営の背景

- 生物多様性の損失による食料供給の不安定化や気候変動の激化などの問題が、原材料調達の不安定化やサプライチェーンの寸断などを通じて企業の事業継続に深刻な影響を及ぼしていること。
- 消費者や投資家の間で、企業の社会的責任や環境への配慮が重要視される傾向が高まっていること

【企業の主なメリット】

メリット①

事業継続のためのリスク低減

資源価格変動などは、無視できないリスク要因。ネイチャーポジティブな取組は、環境リスクを管理し、事業への直接的な影響を最小限に抑えるための有効な手段となる。

メリット②

新たなビジネスチャンスの創出

自然は単なる保護対象ではなく、事業活動の基盤。生態系の機能を理解し、それを事業に取り込むことで、コストの削減はもちろん、新たな製品・サービスなど積極的な価値創造へ繋げることが可能。

メリット③

新たな資金調達の可能性

生物多様性に関する情報開示の新たな枠組みである「TNFD」に先駆けて取り組む企業には、有利な条件での資金調達機会が広がる。

メリット④

企業のブランド価値の向上

消費者意識の変化を先取りした企業ブランドは、持続的な競争優位性を確立できる。

同時に従業員の社会貢献意識を高め、企業へのエンゲージメント向上にもつながる。

市内企業の取り組み事例

株式会社ブリヂストン　北九州工場 @響灘ビオトープ

ジャンボタニシの駆除活動

北九州工場では、定期的に、響灘ビオトープ内に生息する外来種であるジャンボタニシを駆除し、響灘ビオトープの水生生物や希少種を守る取組などを実施。

株式会社ギラヴァンツ北九州 @曽根干潟

曽根干潟の清掃活動

ギラヴァンツ北九州では、曽根東小学校が実施する「曽根干潟クリーン作戦」に参加し、地域の方々と、曽根干潟の保全活動に取り組んでいる。

九州電力株式会社　北九州支店 @響灘ビオトープ

ビオトープの清掃活動

北九州支店では、響灘ビオトープとの協働により、渡り鳥が飛来する営巣地を整備する、砂礫地の　除草作業ボランティア活動を実施。

■ 北九州市は、企業がネイチャーポジティブに取り組むフィールドが豊富

■ 今後、ネットワークで、「活動」と「主体」のマッチングを実施

ネイチャーポジティブ宣言！

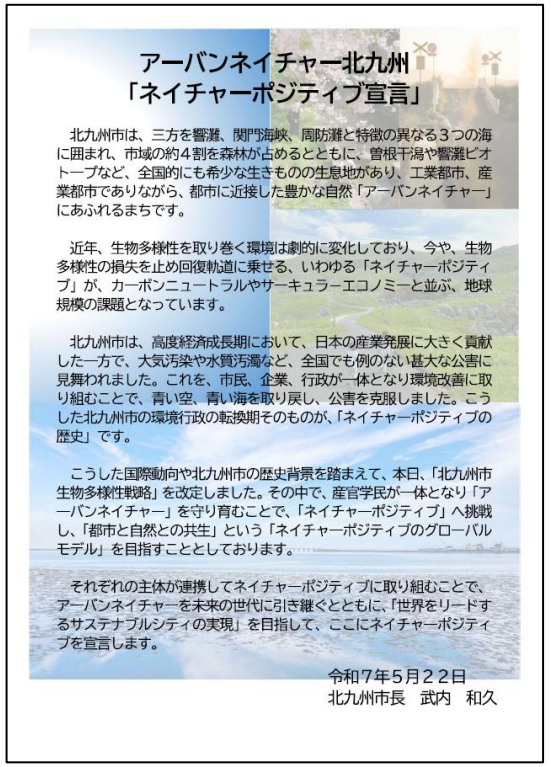
■ 北九州市が、「ネイチャーポジティブのグローバルモデル」を目指すに当たり、意思表明を行うため、

西日本の政令市初！

本日、「ネイチャーポジティブ宣言（※）」を実施

※「ネイチャーポジティブ宣言」とは・・・

- ✓ ネイチャーポジティブの実現に向けて、様々なステークホルダーが、未来にむけた活動を表明し、一歩前進するための“宣言”
- ✓ 環境省が運営する会議体である、2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）が実施
- ✓ 290企業・団体が参加（2025年04月10日時点）



アーバンネイチャー北九州
「ネイチャーポジティブ宣言」

北九州市は、三方を響灘、関門海峡、周防灘と特徴の異なる3つの海に囲まれ、市域の約4割を森林が占めるとともに、曽根干潟や響灘ビオトープなど、全国的にも希少な生きものの生息地があり、工業都市、産業都市でありながら、都市に近接した豊かな自然「アーバンネイチャー」にあふれるまちです。

近年、生物多様性を取り巻く環境は劇的に変化しており、今や、生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せる、いわゆる「ネイチャーポジティブ」が、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーと並ぶ、地球規模の課題となっています。

北九州市は、高度経済成長期において、日本の産業発展に大きく貢献した一方で、大気汚染や水質汚濁など、全国でも例のない甚大な公害に見舞われました。これを、市民、企業、行政が一体となり環境改善に取り組むことで、青い空、青い海を取り戻し、公害を克服しました。こうした北九州市の環境行政の転換期そのものが、「ネイチャーポジティブの歴史」です。

こうした国際動向や北九州市の歴史背景を踏まえて、本日、「北九州市生物多様性戦略」を改定しました。その中で、産官学民が一体となり「アーバンネイチャー」を守り育むことで、「ネイチャーポジティブ」へ挑戦し、「都市と自然との共生」という「ネイチャーポジティブのグローバルモデル」を目指すこととしております。

それぞれの主体が連携してネイチャーポジティブに取り組むことで、アーバンネイチャーを未来の世代に引き継ぐとともに、「世界をリードするサステナブルシティの実現」を目指して、ここにネイチャーポジティブを宣言します。

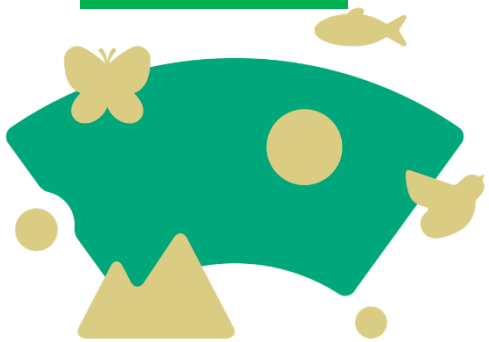
令和7年5月22日
北九州市長　武内　和久

取組の象徴となるアイコン（ロゴマーク）の作成！

【アーバンネイチャー北九州】
自然損失の反転、回復軌道を
イメージし、公害からの復活、
これからの飛躍、
成長の想いを込めたロゴマーク

**【ネイチャーポジティブ
センター・ネットワーク】**
北九州市の７つの区における
多様な自然を包括し、
育て、発信していく様子を
表現したロゴマーク

日本語版



アーバンネイチャー
北九州

北九州
ネイチャーポジティブ
センター

北九州
ネイチャーポジティブ
ネットワーク

英語版

Urban Nature
Kitakyushu

Kitakyushu
Nature Positive
Center

Kitakyushu
Nature Positive
Network

国内外に幅広くプロモーションし、都市ブランドの向上へ！！